

AI House Davos 2025 でのパネル “AI and Physics” にて、学習物理学領域代表の橋本幸士（京都大学大学院理学研究科教授）が登壇、AI と物理学の融合が魅せる未来の学問について語る

2025 年 1 月 23 日：スイス・ダボス



スイスのダボス会議と並行して現地開催された AI の未来についての会議 “AI House Davos 2025” にて、学習物理学領域代表の橋本幸士が、物理学と AI の融合の未来について議論を行いました。パネル “AI and Physics” は藤井輝夫東京大学総長がモデレートし、アメリカからは Max Tegmark MIT 教授、また学習物理学 A02 班の田中純一東京大学教授も登壇しました。

パネルでは橋本が AI と物理の関係を説明し、藤井輝夫氏と学問の方向性を確かめ合う場面や、またこれからの AI の未来に引き続き物理学が貢献し、新しい世界の見方が探られる研究や、自動数学などから生成 AI が科学を変えていくこと、AI と科学の協調が、橋本から強調されました。世界的な潮流がさらに拡大していくことが期待されます。

